

# つくる佐藤ひろと ツモリ

内部討議資料

## 【第②回】「トナリのひろと」と呼ばれるのはなぜ?

### トとにかく地道に歩く——行動力

「人のために尽くしたい」というのが政治家を志した原点。そのためには「まず現場へ」という姿勢は一貫して変わりません。「この前、佐藤さんが来てくれました」という地域の友人の声が区議会議員の中で群を抜く行動力の何よりの証拠です。

### 十何でも相談できる——安心感

「地域の声を区政に届けるのが区議会議員の使命」が信念。「苦しんでいる人」や「悩んでいる人」の声を真剣に聞き最大限の激励と応援をする。どんな小さなことでも親身になって相談に乗ってくれる「皆様の心がわかる議員」です。

### I理想を貫く——粘り強さ

地球規模の環境問題を考えて、まず身近な区内の「水環境の保全・創出」について区議会定例会で8回にわたって連続質問。「視点は地球規模で！行動は地域から！」というモットーを基本に理想に向かって粘り強く前進する「世田谷の未来を任せられる議員」です。

### 私が知ってるトナリのひろと

公園で地域活動に取り組んでいる婦人のYさんとMさん

長年にわたってママさんバレーを続けているKさん

大学で水環境について研究しているW教授

「花の丘公園にも、よく足を運んで私たちの活動を積極的に応援して頂いています。

秋のイベントでは汗だくになりながら焼き芋を焼くのを手伝って下さって、参加した皆さんも大喜びです」

「佐藤さんが主催する『シュガーカップ』は、参加希望チームが年々増えて参加者からも大好評です。前回の大会では、中学3年生まで医療費無料を実現という佐藤さんの、あいさつに拍手と歓声があがりました」

「水環境の保全・創出という時間と労力がかかる課題に真正面から取り組み、理想の実現に向けて地道に努力を続ける姿勢に期待しています」

【第③回】は皆様の「お役に立った」ことはなに?です。